北谷町 キャンプ桑江南側地区



平成23年度

まちづくり勉強会(第2回)



平成24年1月16日

北 谷 町

1 賑わい広場のあり方について

(1)前回の意見

【勉強会における、賑わい広場についての意見】

誰が	住民子供 町民 観光客(県内、県外)		
いつ	毎日 どちらかはっきりしない 時々		
どのような 使い方	まつり、イベント、コンサート 多目的(限定しない) 駐車場 イメージできない 本地区の皆さんの優先すべき施設		

意見の詳細

- ・毎日集まるようにするのか、たまに集まってもらうのか、それがはっきりしない。
 - →コンサートや催し物を行う広場が考えられるが、それは毎日ではない。
- →国道を走る車に寄ってみようと思わせる施設(道の駅等)が、毎日人が集まる場所になるのではないか。
- ・駐車場を兼ねたイベント広場が良いのではないか
- →たくさんの人が来るためには駐車場が必要。駐車場は、多目的に使える広場となる。
- ・行政地区、文教地区としての広場のイメージが掴めない。
- ・この地区の皆さんの優先すべき施設が欲しい
 - →地区にためになるものであれば良いが、町全体のためにこの地区が負担を 負わなければならない必要性があるのか。
- ・広場の位置は、教育施設と役場の間が良い
- ・公園を分散配置せず、広い広場のある公園とするのが良い。

(2) 有識者会の意見

【有識者会における、賑わい広場についての意見】

誰が	近隣の人、地域の人 外から来る人 (観光客、町民) 役場周辺の業務地 (知的産業) に働きに来る人 地域の人と観光客や町民の両方	
いつ	※特に意見なし	
どのような 使い方	商店街 道の駅 JAファーマーズマーケット 観光客を誘導し地域の皆さんと交流できるような広場 学校と地域が一体で利用するような広場	

意見の詳細

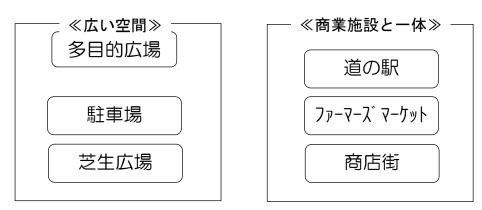
- ・アメリカンビレッジやフィッシャリーナに対して、キャンプ桑江地区は生活 や暮らしの場となるという認識に立つと、日常生活の質を高め、暮らしやす くするような場所(商店街のような場所)が良いのではないか。
 - →日常生活に必要なものが揃う場所
 - →地元の中小の店舗でも参加できるもの
- ・国道58号沿いなので観光客や町民が集まる場所(道の駅)が良い。
- ・国道 58 号の「おんなの駅」から北谷まで区間の東側は軍用地が続くため、道の駅やJAファーマーズマーケットのような施設が良いのではないか。
 - →フィッシャリーナに同様の施設ができるので、近すぎるのではないか。
 - →北谷町では農業がほとんど行われなくなっているため、農産物を町外から も持ち込むことになる。
- ・地権者の土地利用による地域の活性化と町全体の発展のために、西海岸地域 と連携を図り観光客を誘導し、地域の人と交流できるような広場になると良いのではないか。
- ・大資本による大規模な施設によって、まちに圧迫感が生じないように、行政 が広くスペースを確保しておくべき。
- ・謝苅地域も含め、将来の高齢化社会を見据えたまちづくりを検討する中で考えるべき。

(3) 賑わい広場のあり方に対する意見整理 【誰が】【いつ】

 地域の人 (住まう人、働く人)
 外から来る人 (観光客など)

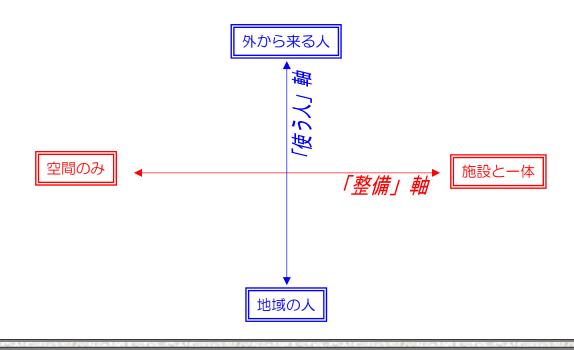
 が 日常的に使う
 が 非日常的に使う (ときどき)

【どのような使い方】



(4) 賑わい広場の基本方針の検討に向けて

意見整理を踏まえて、下図のような 2 つの軸を設定し、広場のあり方について方向性を検討していきます。



2 賑わい広場の基本方針(案)の検討

(1) 広場の事例





商業施設内 事例 ビナウォーク・海老名中央公園(神奈川県海老名市) 分類: 外観 平面図 # & FA ・大型商業施設「ビナウォーク」に囲まれた海老名市の都市公園。 ・地下に市営駐車場が整備されている。(収容台数 198 台) ・海老名駅(小田急、相模鉄道)東口の開発にあたり、民間事業者の商業施 設が公園を取り囲むように配置されるのに合わせて、その公園が一体的に 整備された。 →公園が商業施設の中庭としての機能を果たし、民間施設と公園の存在が 相まって、駅前における賑わいの拠点が形成された。 ・公園面積: 0.93ha 事務所 鈴木医院 概要 •三省堂書店 0 **周海老名** 海老名中央公園 ビナウォーク ジョリーパスタ (C)Yahoo Japan (C)ZENRIN 出典 海老名市 HP、国土交通省 HP

事例	牧志駅前広場〔さいおんスクエア〕(那覇市)	分類:	駅前広場
外観			
平面図	施行地区面積 約2.3ha	●駅前広場(標準幅員	12m、延長約 160m
概要	 ・「さいおんスクエア」は、氾濫を繰り返してきた安里 朽家屋の集約と、衰退しつあった国際通りの活性化 事業により整備された約 2.3ha のまちの愛称。 ・この市街地再開発事業の中で、沖縄都市モノレールで て整備された。 →交通結節点としての機能はもとより、まちの活性 開催できる環境空間としても位置づけられている。 ・駅前広場の面積 約 1920 ㎡(公共施設) ・駅前広場に隣接する北敷地の再開発ビルには、複合 ホテル、公民館及び図書館が入居している。 	のため、i 牧志駅の! 化のための	市街地再開発駅前広場とし
	」 さいおんスクエアHP		

		ı	- (\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
事例	道の駅かでな(嘉手納町)	分類:	道の駅
外観		デナロータリー	色の駅かでな
概要	・施設面積 7130 ㎡ ・駐車場 66 台(大型 10、普通車 54、身障者 2) ・トイレ、公衆電話、案内・休憩室 ・米軍嘉手納飛行場を一望する展望フロア、学習展示室 ・特産品展示販売場、農産物直売所 ・レストラン	Ξ.	
出典	嘉手納町 HP		

事例	おんなの駅「なかゆくい市場」(恩納村) 分類 ファーマーズ・マーケット
外観	東京 田 東 大
概要	 ・正式名称「恩納村農水産物販売センター」 →指定管理者:株式会社 ONNA ・国道 58 号沿い ・駐車場 124 台(大型 5、普通車 114、身障者 5) ・敷地面積 7380 ㎡ ・トイレ ・農産物販売コーナー、特産物販売コーナー、水産物販売コーナー ・手作りパン工房 ・宝くじ売り場、銀行 ATM
出典	おんなの駅 HP、恩納村 HP

	I		庁舎前広場
事例	県民広場(那覇市)	分類:	门一即丛场
外観			
概要	・沖縄県庁舎に建替えに伴い、県の顔づくりが求めらん 備された。 ・沖縄の歴史や風土を考慮した、新しい都市景観の創出 ・地下に公営駐車場が整備されている。(収容台数 202 ・面積 約 4300 ㎡	を意図し	
出典	沖縄県HP、日本造園学会誌		





事例	美浜第二公園(北谷町) 分類: 街区公園
外観	
概要	・街区公園 (もっぱら街区に居住する者の利用を目的とする。誘致距離 250m) ・開設面積 0.14ha ・ベンチ、多目的広場
出典	北谷町HP



(2) 本地区の土地利用計画〔確認〕

本地区の土地利用計画を確認します。



(参考) 本地区の広域的な位置を確認します。



